

<案>

R8.5.8提案

令和8年4月12日開催



いいね!

ページ番号1013237 更新日(公開日自動表示)

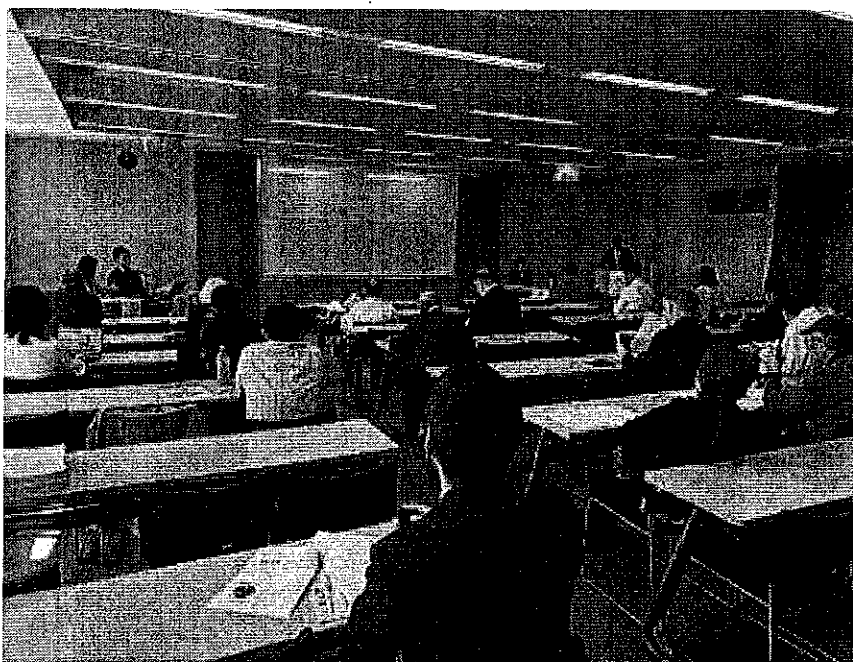
議会報告会を開催しました

令和8年4月12日(日曜日)に、中央公民館で議会報告会を開催し、30名の方にご来場いただきました。

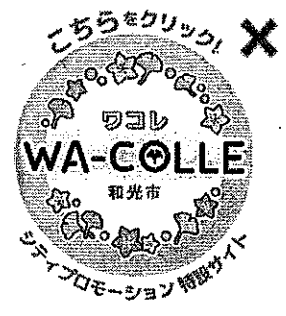
初めに、副議長から挨拶があり、予算決算常任委員会委員長が令和6年度決算の総括について報告を行いました。

報告後に『第五次和光市総合振興計画基本構想について』をテーマとして、意見交換会を行いました。

皆様からいただきましたご意見、ご感想を念頭に、様々な議会活動を通して市政へ反映させるとともに、今後につきましても試行錯誤しながら議会報告会を開催し、より開かれた議会を目指して取り組んでまいります。



議会報告会の様子





意見交換会の様子



日時

令和8年4月12日(日曜日)

10時00分～11時30分

場所

中央公民館 2階 会議室1

出席者

待鳥美光 副議長

吉田武司 議員(議会運営委員会委員長)

鎌田泰春 議員(予算決算常任委員会委員長)

菅原 満 議員(予算決算総務環境分科会会長)

富澤啓二 議員(予算決算文教厚生分科会会長)

松永靖恵 議員

内田あや 議員

吉田活世 議員

齋藤幸子 議員

伊藤妙子 議員

渡邊竜幸 議員

片山義久 議員

萩原圭一 議員

赤松祐造 議員

岩澤侑生 議員

内山恵子 議員

内容

1.議会報告

令和8年度予算の審査概要の報告

2.市民と議員との意見交換会

テーマ『第五次総合振興計画基本構想について』

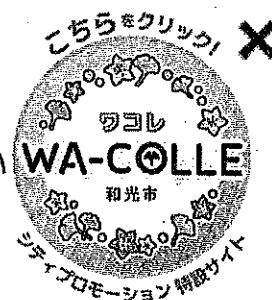
【総務環境常任委員会】

『目標像1 良好な生活環境が得られる』

『目標像2 安全かつ快適に移動できる』

【文教厚生常任委員会】

『目標像4 こどもが自己肯定感を持ち健やかに育つ』



『目標像5 安心して妊娠・出産・子育てができる』

『目標像6 高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる』

『目標像7 誰もが自立した生活と社会参加ができる』

次第・資料

下記の添付ファイルをご覧ください。

[議会報告会次第 \(PDF 135.4 KB\)](#) □

[予算決算常任委員会委員長報告 \(PDF 892.3 KB\)](#) □

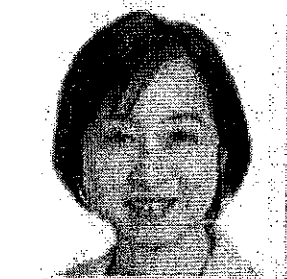
[アンケート \(PDF 114.5 KB\)](#) □





和光市議会 議会報告会

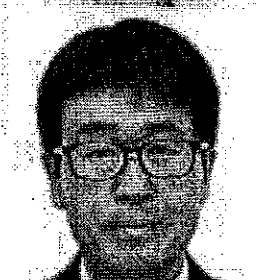
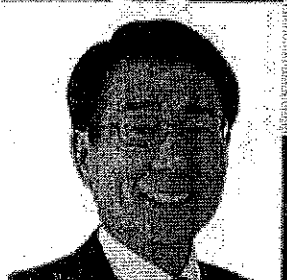
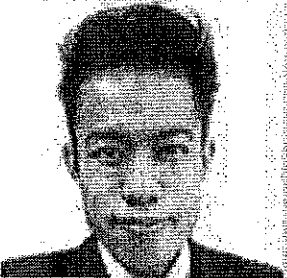
#そうだ議会へ行こう



当日参加OK

2026.4.12 日

OPEN 10:00 CLOSE 11:30



3月定例会の報告

令和8年度予算審議の概要ほか

市民と議員の意見交換会

和光のまちづくりを語ろう！



📍 和光市 中央公民館 会議室1

🏛️ 〔主催〕 和光市議会

☎️ 〔問合せ〕 議会事務局 048-424-9108

👉 お子さまとご一緒での参加もOKです！



アンケート

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

性別、お住まいの地区、年代をお聞かせください

性別

男性 8人
女性 6人
無回答 11人

お住まい

白子 3人
下新倉 2人
本町 5人
丸山台 1人
新倉 1人
川越霞が関 1人
無回答 12人

年代

20代 1人
30代 4人
40代 2人
50代 4人
60代 5人(うち1人は見た目)
70代 6人
80代以上 2人
無回答 1人



1 今回の議会報告会は何で知りましたか

広報わこう 5人

議会だより 1人

ホームページ 3人

議員から 10人(内田議員2人(うちXで)、渡邊議員1人)

和光市公式LINE 6人(意見)3月に2度なのでもう少し告知した方がよいかと

その他 1人(SNSで見かけた/Facebook)

2 議会報告会の進行について

よかった 8人(意見)司会者が良かった

普通 13人

よくなかった 2人

(理由)

①質問の時間がほしい

②全体としての質疑があった方が良かった

③意見交換会のテーマを限ることは、意見交換の内容を限ることになるのでよくない

無回答 2人

3 説明について

わかりやすい 10人

普通 10人

(理由)

①議員報酬引上げについても触れるべき

わかりにくい 3人

(理由)

①投影した方がよい

②マスクで聞き取りにくかった

無回答 2人



4 資料について

わかりやすい 8人

普通 13人

わかりにくい 2人

(理由)

①内容が少ない気がします

無回答 2人

5 意見交換会でテーマを設定したことについて

よかった 24人

(理由)

①様々な見解を伺えて参考になりました

②市政全般に関わるものでよい

③多くの来場者を見込むためには余り限定すべきではない

④テーマを設定しない会もお願いしたい

⑤普通の主婦では選べない

よくなかった 1人

(理由)

①市民の意見が反映されるテーマとされないテーマがあることは不平等ではないか

6 開催日と時間帯について(複数回答も可)

平日の午前 4人

平日の午後 4人

平日の夜間(18時00分以降) 5人

土日・祝日の午前 21人

土日・祝日の午後 8人

土日・祝日の夜間(18時00分以降) 2人

(意見)

いろいろな時間帯を設け、できるだけ多く市民が意見をだせるようにしてほしい



7 開催場所について(複数回答も可)

市役所 14人

公民館 19人(うち中央公民館5人)

地域センター・コミュニティセンター 8人

無回答 2人

8 議会報告会にまた参加したいと思いますか

参加したい 20人

わからない 4人

無回答 1人

9 議会報告会で取り上げてほしい内容はございますか

健康問題、発達障害

ワクチンへの取組(安全性への疑問)

前年から変わったこと、実現できたorできなかったこと

読み書きスクリーニングのシステムを小1の全生徒にとり入れてほしい

市政(取組みについて)

行政DX(今回の事例はDXとしては不十分かと)

和光高校跡地について

和光市各地区の交通事故対策

様々なテーマが良い

議会改革について(任期中に1回はテーマにするべき)

北口再開発

254バイパス

和光市でもっと住み良くするには

高齢者の移動

まちのいいところと課題を知りたい(川越では報告会ありません)

治安について

ファミリーが増えやすい街づくりについて



10 議会に対するご意見など、お聞かせください

議会が土日に公聴できるとうれしいです

市民への情報ありがとうございます

市民の立場から言えること

分科会は今回が一番良かったです

今回初めての参加、定期に開催してほしい

介護保険料の期ずれ問題は市長への追及をやめないで下さい。責任をとっていただきたい。

頑張ってください!

休日開催は参加者が多い、基本的に休日に開催すべき

市民との約束である議員間討議が未だ導入されていない、全議員賛成であるにもかかわらずである。速やかに導入すべき

和光市特別職・報酬審議会答申には、議員引上げに伴い、議員定数の見直しについて言及されている。議員定数についても議論すべき

反問権の付与の導入も速やかにお願いしたい

なぜ、今回のテーマのみを意見交換の場に提示したのか説明してほしい

議会中継は画質をあげてほしい。YouTubeなどなじみのあるプラットフォームがいいです

web中継のPRをして市民の市政への関心を

報告会すばらしいですね。市民との対話を継続して下さいね

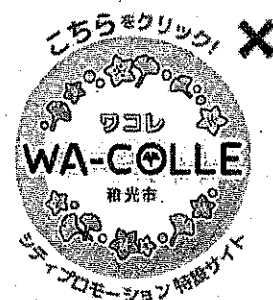
ホームページでの報告だと市民に伝わりにくい

意見交換会

総務環境常任委員会 グループ1 (PDF 3.5 MB) ☐

文教厚生常任委員会 グループ1 (PDF 1.2 MB) ☐

文教厚生常任委員会 グループ2 (PDF 708.1 KB) ☐



このページに関するお問い合わせ

議会事務局 議事課 庶務担当

〒351-0192 和光市広沢1-5 議事堂2階

電話番号:048-424-9108 ファクス番号:048-463-2835

お問い合わせは専用フォームをご利用ください。



1. 自己紹介

●菅原：下新倉在住

●萩原：新倉在住

○新倉在住。予算を増やすには財源が必要で、居住者を増やしていく必要があるのではない
か。ワンルームでは、実際に住民票をおいているのかどうかの懸念がある。

ワンルームマンションの急増に伴う若年層の増加と住民票の未登録問題ということはどうか
市でわかるのか。これは市の税收確保や居住実態の把握という点での課題があるのではない
か。ファミリーが入って来づらいことに不安を感じる。

○川越市在住で、両親を在宅介護で看取り、年4回、川越に限らず、国会に行ったり協議会
に行ったり、地方議会を傍聴したりしている。SNSで議員さんに繋がったりしながら、埼玉、
日本の未来のために、自分たちが今できることを念頭に置きながら、和光市で議会報告会が
行われている事を知り、今日参加した。年2回行われていることは素晴らしい。和光市の長
所を学び、自身の地域に活かしたいと考えている。

●内山：下新倉在住。元々自衛隊勤務していた。現在は防災士として、県内で防災啓発活動
しながら、和光市の地域防災をしっかり育てていこうと活動している。

●伊藤：南在住。先ほどのワンルームマンション310世帯建設の件、小さな和光市にワンル
ームマンションが多い課題について関心がある。昨年度より条例改正され、改善が期待され
るとおもうが、該当のマンションには間に合わなかった。今後も見していきたい。

○本町在住。今日のようにグループ分けすると、全体の意見が聞けないが、なぜこのよう
にしたかわからない。私自身、市の議会傍聴や地域の祭り・行事への参加を通じて市政に関わ
っている。市民の意見を市政に反映するメカニズムを考えたい。政治塾を作りたいと思っ
ている。今日もワクワクしている。問題定点について伺いたい。

○板橋区成増在住で、都議選に出馬。和光市で過ごすことが多い。隣接する板橋区から見
ても和光市は魅力的であり、和光市から学べることを学びたいと思って、参加した。

●前は少人数だったので1グループで行ったが、今回は人数が多いので、発言が十分で
きるよう、関心のあるテーマごとにグループ分けをした。

2. ワンルームマンションの増加と住民票・税收の問題

○単身者向け住居増加が市の税收やコミュニティに与える影響はどうか。住民票を移してい
る世帯は何割かわかるのか？市の担当者は個人情報保護を理由に詳細な調査は難しいのでは
と思うが、今後居住実態が把握できるのか確認をしたい。

●個人情報という面もあると考えるが、行政として居住実態が把握できるのか今一度持ち帰
りしたい。

○ワンルームマンションの建設とファミリー向け住宅の確保ということについて、開発に当
たっている条例による「努力義務」では実効性が低いと思う。どんな人が住んでいるかわから

ない状況は、近隣住民として不安である。「義務化」も必要ではないか。

3. 市民参加・議会報告会・地域コミュニティ・和光市の魅力と長所の活用

○生まれ育った川越市は、川越の愛郷心が強い地域コミュニティを紹介。川越大好きな人が多くいる一方、外国人が増えている。財政的に厳しい状況はどこも同じと思うが、課題ばかり突いても楽しくないので、いいところを伸ばすことが必要。和光市民がどこを気に入っているのかを、聞きに来た。川越に持ち帰りたい。

○地域の祭りや行事があり、地域の要望へのかかわりを受け入れられる街である。餅つき大会など、小さなところにも、自ら参加していくと、良さが分かる。

●和光市は大きなまつりは無いが、自治会の祭りなど、小さな祭が多い。

●前職の際に東日本大震災対応時に夫婦共に自衛官だったので、家を空けることとなったが、近隣の方が子どもたちの面倒を見てくれたことで、地域との繋がりの大切さ、和光市の温かさを感じ、役員などを引き受け、現在に至る。よそから来た人を温かく受け入れる街である。

4. 市内の南北での再開発

●17年間和光市に在住。交通の便の良さを評価しつつ、都県境における住環境や行政支援の違いに疑問点を持っている。交通の便の良さで移り住む人が多い一方、市内には南北格差が存在する。南側は公共施設が充実しているが、スピーカーが住む北側は商業施設が不足していると感じている。近年、北側で区画整理や駅前再開発が進んでおり、今後の発展に期待が寄せられている。

5. 近隣自治体との比較・住環境（子育て支援・家賃）の評価

○近隣自治体との比較（子育て支援・家賃）：東京都板橋区の方が子育て支援が手厚いと感じる人がいる一方で、家賃などのトータルコストを考慮して和光市を選ぶ人もおり、居住地の選択が分かれている。住民票が移されなければ税金が増えず、行政サービスを充実させられないジレンマがある。

○治安について、安全なまちづくりを進めていてもらいたい。

○地域の魅力と可能性：交通の便の良さ、都心へのアクセス、緑の豊かさは和光市の大きな魅力として認識されている。課題解決だけでなく、これらの長所を伸ばしていく視点が重要である。

●和光市の魅力（交通の便、緑の多さ）を評価し、課題だけでなく良い点を伸ばす発想の重要性を強調。ファミリー層向けの街づくりが十分に活かされていない可能性を指摘した。

6. 住環境・道路問題

●市内の南北格差や狭い道路問題を認めつつ、北側駅前の再開発や区画整理が進んでいることを説明。

●東武東上線を境に、公共施設が充実する南側と開発が遅れている北側との格差が顕著であ

る。北側では駅前の再開発や区画整理が進行中だが、狭い道路が多く、道路の拡幅には土地所有者の協力が不可欠である。

●和光市は道が狭いことが大きな問題で、災害時の安全確保の観点からも課題となっている。道路拡幅は土地所有者の協力により拡幅に取り組んでいる。

●和光市では、立地適正化計画を策定して、道路や住宅の配置といった点を盛り込んでいる。

○住環境は大事だと思う。住みやすさに関し、市民の声は、和光市に届いているのか？

7. 道路問題とまちづくり

○和光市は道が狭いことは議会にも届いており、災害時の安全確保の観点からも課題となっている。道路拡幅は土地所有者の協力が得られにくく難航しており、部分的な整備にとどまっている。市のアンケートでも交通の便の良さと並行して、道路の狭さや災害への不安が課題として挙がっていると思う。

8. 市民参加と議会報告会への評価

○和光市の議会報告会のような、議員と市民が直接対話する機会は、市民の市政への理解と関心を深める上で非常に有効であると評価されている。多様な市民が主体的に地域に関わることが、より良いまちづくりに不可欠である。この取り組みが他自治体にも広がることを期待した。

○議員は多様な市民の声を拾い、具体的にフィードバックする役割を担うべきだ。

○近隣自治体の参加者として、和光市の議会報告会が党派を超えて議員と市民が直接対話する「市民のための会」として高く評価する。市民が市政に関心を持ち参加することが重要であり、素晴らしいと思う。

参加者 14 名（内議員 4 名）

テーマ：目標像 6 高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる

目標像 7 誰もが自立した生活と社会参加ができる

●以前、介護認定率の低さが国から評価されていたことがあったが、現在は相変わらず他の市町村より低いのか、また高齢者施設等が少ないが現状の施策はどうなっているのか。

○（議員）介護認定率は上昇傾向にある。主に高齢者の増加による。また特別養護老人ホーム誘致の取組はあるが実現に至っていない。勤労青少年ホームは令和 8 年度末で廃止し、その後は特別養護老人ホームの建設予定地として活用する方向で検討している。

●周辺他市に比べて和光市の認定率がどうなのか、年代別の人口がどうなっているのか、どこを見ればわかるのか知りたい。

○（議員）和光市長寿あんしんプランは市のホームページで公開されているが、認定率の推移等それで見られる。

●見てみようと思うが、それを概略化して問題点や今後の対応等市民にわかりやすくしていただきたい。

○（議員）今年度、次の第10期計画を策定していくので、今いただいたご意見は伝えさせていただく。

●和光市には9校小学校があって、それぞれの校区で地区社協の活動がある。第五小校区では歌ったり体操したり給食も無料でできる教室をやっていて、約30人が集まり、結構皆さん楽しみにしている。ただ参加者がいつもだいたい同じ顔触れで、近所の独居高齢者等への声かけをお願いしているが、なかなか家から歩いて行ける範囲でないと参加が難しい。歩ける範囲に拠点が少ないのがネック。

●免許返納しても和光市は何もない。朝霞市はやっている。

○（議員）交通不便地域の免許返納者を対象にタクシー券の補助の実証実験を実施したところで、その結果を見て今後の施策を検討することとなっている。

●デジタルクーポン、スマホ持っていない人に紙でQRコード配るという話だったが、結局印刷代がかかる。以前は冊子でクーポン配った例もあって、市民のための経費と言いながら無駄に税金を使っているのではないか。国の交付金を使った事業の経費がどのくらいかかっているのかも市民にわかるように示してほしい。

●文化関係で、高齢者の楽しみでもある芸能関係の事業で市が直接絡んでいるものが和光市はない。朝霞市では市が主催に名を連ねて文化祭芸能のつどい等

やっているし、板橋区でも歌謡祭等がある。市として市民の楽しみになるよう

な文化振興や、施設のメンテナンス等しっかりやってほしい。

意見交換会 要点筆記

令和8年4月12日（土）

「第五次和光市総合振興計画基本構想」

『目標像4 こどもが自己肯定感を持ち健やかに育つ』

『目標像5 安心して妊娠・出産・子育てができる』

【参加議員】

片山義久（ファシリテーター・記録）

鎌田泰春

内田あや

松永靖恵

【市民参加者数】

10名

【学校給食】

市民から「オーガニック食材を使った給食に取り組んでほしい。また、近隣の他市（志木市、新座市、朝霞市など）と比べて、和光市は保護者の給食費負担額が高いのではないかと。市からの補助をもう少し増やしてほしい」との意見が出されました。

議員は「和光市は給食センター方式ではなく自校方式を採用しており、市内産の野菜を取り入れるなど、質の高い給食を温かい状態で提供できているため、その分原価がかかっている。限られた市の予算の中で補助を行っている事情を理解してほしい」と答えました。

【障害児支援・療育・教育】

市民から「市内の療育施設の選択肢が少なく、市外へ通う親の負担が大きい。また、保育所等訪問支援などを利用したくても、学校側から断られるケースがある。作業療法士や言語聴覚士などの専門職が学校を巡回するなど、福祉と教育の連携をもっと進めてほしい」との要望がありました。

議員は「市内の療育施設が満杯で母子の負担が大きいことは把握している。市内の保育士や生活指導員が給与水準の高い都内へ流出してしまう人材不足も深刻な課題だ」と述べました。

【キャリア教育・自己肯定感】

市民から「和光市には研究機関や企業が多くあるため、そうした地域資源を巻き込んだキャリア教育が可能だと考えている。子どもたちが向上心を持てるような空気感を醸成してほしい。地元の街の人たちの仕事をカードゲームのように子どもたちに紹介するものを作って、関心を持ってもらうのも良いのでは」との発言がありました。

議員は「キャリア教育を公教育の中で学ぶ機会を設けたり、子どもたちを褒めるアワードのような仕組みを作ったり、自己肯定感や市への愛着を育んでいきたい」と述べました。

【医療・行政サービス】

市民から「市内に産婦人科が少なく、若い女性や子どもが気軽に性や身体の悩みを相談できる『ユースクリニック』のような場所が必要だ」との訴えがありました。

議員は「市が特定の病院を誘致することは民間企業のため難しいが、性教育などについて講演会を開くなどのアプローチを検討したい」と答えました。

市民から「他市ではマイナンバーカードと子ども医療費受給資格証の連携が進んでいるのに、和光市ではいまだに紙の受給者証が必要だ。当たり前のインフラ整備を急いでほしい」との指摘がありました。

議員は「早急に進めなければならない課題だ」と応じました。

【不登校支援】

市民から「旧保健センターに新しくできる不登校支援センターの設置場所について、学校内にすべきか、学校から離れた場所にすべきかで子ども家庭庁と文部科学省の見解が異なっているが、どう考えるか」との問いかけがありました。

別の市民から「一概にどちらが良いとは言えない。環境を変えることで通える子もいれば、学校内の相談室なら行ける子もいる。子どもが通えるようにどうバックアップできるかが重要だ」との意見が出されました。

【総括】

意見交換会では、学校給食、障害児支援、キャリア教育、医療・行政インフラの整備など、子育てや教育に直結する多岐にわたるテーマで活発な意見交換が行われまし

た。市民からは当事者としての実体験を踏まえた切実な提案が寄せられ、議員からは
予算や人材不足といった現状の課題とともに、解決に向けた方向性が示されました。

